認定こども園　広島和光園保育所

子育てつうしん

令和7年度　夏号

今年は梅雨明けが早く、あっという間にかんかん照りの太陽とともに夏がやってきましたね。真夏の暑さに負けることなく子どもたちは元気いっぱい過ごしています。水分補給や適度な休息を取りながら過ごしていきたいですね。

今年度も“うぇるかむでぃ”を行います！

広島和光園保育所では土曜日の午前中（年に４回程度）、地域の未就園の親子にお越しいただき、園の玩具や運動遊具などで遊んでいただける日を設けています。（予約制です）

ぜひ親子でお気軽に遊びにきてくださいね！

参加ご希望の方は予約受付期間に、園にご連絡下さい。
予約受付の際に詳細をお伝えいたします。
ホームページにも、内容を掲載しています。

今年度の予定

●8 月 2 日（土）10：00～12：00
（予約受付期間　7 月 22 日（火）～8 月 1 日（金）10：00～17：00）

●10 月 25 日（土）10：00～12：00
（予約受付期間　10 月 14 日（火）～10 月 24 日（金）10：00～17：00）

●12 月 6 日（土）10：00～12：00
（予約受付期間　11 月 25 日（月）～12 月 5 日（金）10：00～17：00）

いろいろな月齢に応じた玩具を準備しておりますので、ご家庭の遊びのヒントにしていただければと思います。

保護者の方同士や保育士との対話を楽しんでいただきながら、子育ての悩みや楽しさを共有できる場になればと思います♪

熱中症対策にはこまめな水分補給を…

子どもはたくさん汗をかくので特に夏の暑い時期には水分補給が大切になってきます。

喉がかわいてなくてもこまめな水分補給が熱中症予防になります。

「水」や糖分・カフェインが含まれない「麦茶」が最適！

大量に汗をかいた時は、「こども用のイオン飲料」で水分と塩分を補給するのがおすすめ！

一度にたくさんよりも、少しずつこまめに摂りましょう！

触って楽しい！～感触あそび～

夏は日差しが強く、暑くて外に出られない日もありますよね。そんな時！夏ならではの感触遊びを楽しんでみませんか？脳の発達にもつながる感触あそび。さまざまな素材に触れることで五感もたくさん刺激されます。また握る・ちぎる・丸める等といった動作を通して、手先の感覚を高めることにもつながります。
今回は保育所で子どもたちが楽しんでいる夏ならではの感触あそびを紹介します。

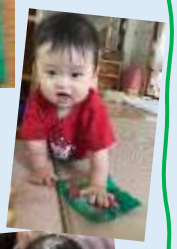
氷

手軽に簡単！

つめたい！

牛乳パックの中に水をいれて凍らすと大きな氷ができ、溶けにくくたっぷり楽しめますよ！
ブロックやチェーンなどを一緒に凍らすと色鮮やかで、溶けていくまでの時間も楽しめます♪

センサリーバッグ



押したり、つまんだり夢中になること間違いなし！

ジッパー付きのビニール袋に水やジェル、洗濯糊などと一緒に身近にあるものを入れて、中身が出ないようにしっかり閉めて、テープ等で留めるだけ♪中に入れるものを変えるだけで、様々なバリエーションが楽しめますよ！
袋は二重にするのがおすすめです！

スライム

ぷるぷる冷たくて
気持ちいい♪

～材料～
- ホウ砂（2g 程度）
- 洗濯のり（50ml）
- 水（50ml）
- お湯（25ml）
- 食紅や絵の具

スライムをビニール手袋などの中にいれてみるとまた違った感触を感じることが出来ました♪

～作り方～
① 容器に洗濯のり 50ml を入れる。
② その容器に好きな色の食紅か絵の具を少々入れてかきまぜる。
③ 別の容器に、お湯 25mL にホウ砂 2g くらいを入れて、よくかきまぜる。
④ 洗濯のりをいれた容器に、作ったホウ砂水をスプーン 1 杯くらい入れ、よくかきまぜる。とけ残っているホウ砂は、できるだけ入れないようにします。
⑤ しっかりとかき混ぜればスライムの完成！

寒天

プルプル、ツルツル見た目もきれいで
いろんな感触が楽しめる寒天！

粉末寒天、水、食紅があれば簡単にできます！
冷蔵庫で冷やすとさらに冷たくなり気持ちいいですよ。
お皿やカップ、スプーンなどを準備しておくとごっこ遊びにつながり、遊びが発展していくこと間違いなし！

※口や目に入れないよう、必ず大人がそばで見守ってください。

子育てのひとくちメモ

毎日仕事や家事に追われ、どうしても今は子どもの思いを受け止めることが難しいという時もありますよね。
そんな時にどうすればいいのだろうか…と感じたことはありませんか？

子どもが抱っこしてほしい、遊んでほしいと自分を必要としてきたときには、できるだけ受け入れてほしいと思いますが、どうしてもできない時やそういう気持ちになれない時もありますよね。そんな時は、「今は、お料理中だから」「用事をしているからお話しできないの」と、**わかりやすい言葉でできない理由を伝える**ことが大切です。親の事情を受け止める経験は、子どもにとって大きな学びになると思います。ただし、お母さんやお父さんたちの状況が変わったり、気持ちが落ち着いたりした時には、「さっきはごめんね」とギュッと抱きしめ、「今から○○しようね」など、補うようなかかわりをすることで子どもの思いに寄り添うことができますよ。

参考文書『幸せ子育てのコツ』

〒734-0003　広島県広島市南区宇品東 3-6-26　TEL:082-253-4056　https://wakoen.or.jp/pages/37/